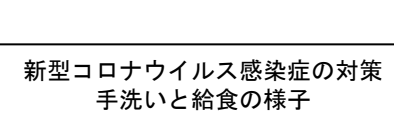
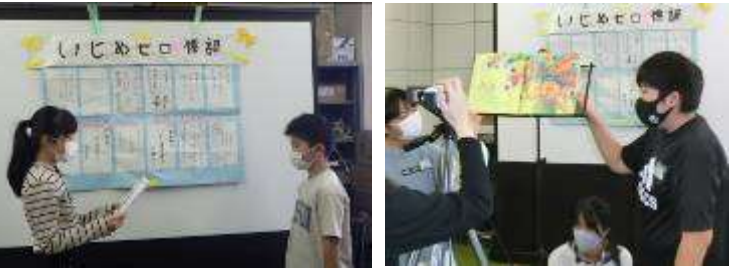


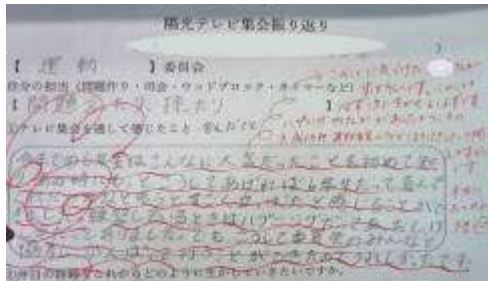
学校評価に関する参考資料「うつのみや学校マネジメントシステム」で示されたアンケートの質問項目に対して、本校では、下記のようなことに取り組んできました。アンケートにお答えいただく際に参考にしてください。なお、下記に示されていない学校や地域、児童のことにつきましては、「お子様からの話」、「授業参観等での様子」、「学校だよりや学年だよりなどの各種たより」、「本校ホームページの記事」などをご確認の上、評価をしていただきますようお願いいたします。

なお、この参考資料につきましては、11月22日(月)～12月10日(金)の期間、本校のホームページにも掲載しますので、ぜひ、ご覧ください。

No.	主な質問項目	学 校 で 行 っ て い る 主 な 取 組
A1	児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。	①基本的な学習態度・技能の育成： 「陽光スタンダード」や「話し方・聞き方の約束」の教職員と児童との共有及び継続的な指導 ②自分の考えを伝える力の育成： 教科等で話し合う場面や発表する場面を意図的に設定 「総合的な学習の時間」発表の様子 児童一人一人が黒板に自分の考えを提示することで話し合いを活性化 教室掲示 全クラスで共有 3人組で意見交換する様子 聞いてるぞ！ あいうえお あ～なるほど。 いいね。いいぞ。 うんうん。(うなずき) え～びっくり。 お～かんだ。
A2 A11	児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。	①相手の立場を考えた行動のできる児童の育成：特別活動や清掃活動 ②周囲の人々の思いを汲むことのできる児童の育成：道徳科の授業や日常の指導 入学式で1年生を座席まで誘導する6年生 1年生に清掃の仕方を教えている6年生 2年生が1年生を「お迎えする会」
A3	児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。	①毎月の生活目標： ・朝の会等での確認・帰りの会での振り返り ・学校だよりや学年だよりによる保護者への周知 ・目につく場所への掲示 ②「陽光スタンダード(生活と学習のきまりをまとめたもの)」： 全教職員共通理解のもとでの指導 毎月の生活目標を随所に掲示 帰りの会などで振り返り 陽光スタンダード(生活と学習のきまり)を意識できるよう各教室に掲示するとともに、児童自身が振り返りを実施
A4	児童は、時と場に応じたあいさつをしている。	①あいさつ強化月間(6・9・1月)：学級ごとにあいさつ運動 ②地域ぐるみのあいさつ推進： お散歩隊や地域協議会委員等への協力依頼 ③地域住民等へのあいさつの充実： 登下校時や来校者へのあいさつについての指導 「陽光スタンダード」のひとつに【あいさつ】欄を設定 全学級共通理解のもと継続的に指導を実施 各クラス順番に実施しているあいさつ運動の様子 一斉下校時にあいさつを含めたマナー等について指導する様子
A5 A7	児童は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。	①目標に向けて努力する児童の育成： ・学習や学校行事等における目標の設定・努力する場の設定 ・努力する姿や達成したことへの称賛 ・道徳科の授業の実践 「水泳チャレンジカード」 自分で目標を定めて努力 道徳科で全学年「努力」について考える授業を実施 全児童の学期の目標を掲示 始業式で学期の目標を発表 ～「うかんだ うかんだ」から諦めないで頑張ることの大切さについて学びました～ あらすじ：水に濡れない「ぼく」は怖くて、毎日お風呂場で洗面器に顔を付ける練習をします。毎日頑張ったことで、水に濡れるようになっただけでなく、水に浮かぶこともできるようになりました。

No.	主な質問項目	学 校 で 行 っ て い る 主 な 取 組
A6	児童は、健康や安全に気を付けて生活している。	①体力の維持・向上：・運動量が確保された体育の授業の実践 ・休み時間の外遊びを推進する。 ②食に関する指導の充実：・学校給食時の放送や学級活動や家庭科等の授業 ・「お弁当の日」を通した家庭への啓発 ③感染症対策：・うがい・手洗い、マスク着用等の徹底（夏季の熱中症対策も踏まえる） ・保護者等に対する理解促進 ④自らの命を守る判断力と行動力：・交通安全教室や避難訓練、引渡し訓練等の計画的な実施 ・南警察署や企業等と連携した「防犯教室」の実施  新型コロナウイルス感染症の対策 手洗いと給食の様子  着衣水泳を実施し、 身の守り方を体験  避難訓練の様子
A9	児童は、宇都宮の良さを知っている。	①宇都宮市への愛着と誇りをもつ児童の育成： ・【高学年】「宇都宮学」における体験活動や調べ学習の充実（タブレット・図書） ・【中学年】社会科と関連付けた「宇都宮学」の実施 ・【低学年】生活科（「まちたんけん」「公園へ行こう」） ・「宮っ子ランチ」「道徳科・地域教材」「遠足、校外学習」と関連させた指導の実施 ・宇都宮市や観光協会等のチラシの活用  年に4回実施される「宮っ子ランチ」 宇都宮の食材や名物料理などを提供 2年の生活科校外学習で「松が峰協会」や「城址公園」など、宇都宮の名所等をコースの中で児童に紹介   5・6年で学ぶ「宇都宮学」の副読本
A10 A25	児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。	①タブレット端末の使用法の習得：・授業での積極的な活用 ・「プログラミング学習」の系統的・計画的な指導 ・タブレット端末を使った家庭学習の実施 ②ICT機器の効果的な活用：・校内研修等の実施 ・ICT支援員との連携（授業参画・教職員研修等） ③図書資料を活用した学習： 各教科等の学習内容に合わせた図書資料の準備と調べ学習への活用  授業の内容に応じて図書室から関連図書を 教室に運び、調べ学習に活用  プログラミング学習の様子 今年度は11月から実施  ICT支援員 ICT支援員と連携した授業の実施
A14	学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。	①「いじめが許されない行為である」という共通認識：児童の様子の見守り，継続的な指導の実践 ②児童との信頼関係の構築：日常会話や教育相談週間，日記指導等の実施 ③「何でも相談ボックス」：年間を通した児童の相談への対応 ④児童自身がいじめについて考える機会の創出： いじめゼロ集会（児童会主催），いじめ防止標語やポスターの作成 ⑤家庭や地域に周知： 学校ホームページや各種たより等による 学校でのいじめの未然防止に向けた取組の周知  いじめゼロポスターの制作及び掲示  児童たちで考えた「いじめゼロ集会」の様子 児童たちが自分たちでいじめをなくす取組を考えて実施
A15	教職員は、一人一人の児童を大切にし、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。	①互いのよさを認め合える児童の育成：・一人一人が活躍できる場の設定（学級会・係活動等） ・学級活動や帰りの会等で友達のよさを発表する活動の導入 ②児童にとって楽しい学校づくり：・「できた」「分かった」「なるほど」が繰り返される授業の実施 ・不適応傾向のある児童への支援（教育相談やQ-U等の結果の活用） ・児童一人一人の興味に応じた日常会話 ③組織的な対応：・遅刻や欠席が多い児童等への早期発見・対応 ・ケース会議の開催  1年生国語「大きなかぶ」音読発表会 一人一人が活躍する場を設定  係活動の掲示物 自分たちで考えて活動  担任するクラスの状態を分析する研修を実施

No.	主な質問項目	学 校 で 行 っ て い る 主 な 取 組	
A17	学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。	①居がいのある学級づくり： Q-U(「楽しい学校生活を送るためのアンケート」)を参考にした予防的・計画的な学級経営 ②自信と責任をもって取り組める活動： 係活動や当番活動等，学級における一人一人の役割を設定 ③みんなの意見を取り入れた活動： 友だちタイム(異学年で組んだ班ごとの交流活動)や児童集会 異学年での清掃活動	
A18	教職員は，児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど，きめ細かな指導をしている。	①基礎・基本の徹底： ・学年や教科に応じた少人数指導や習熟度別学習等の実施 ②学習意欲の向上： ・タブレット端末等，I C T機器の活用 ・教材，教具の工夫 ・調べ学習や発表，体験活動等の導入 ③教員の指導力向上： ・校内研修の充実 ・指導方法等の検証及び授業改善	
A21	学校は，小学校と中学校が連携した「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。	①小中学生の直接的交流：「小中合同あいさつ運動」，「宮っ子チャレンジウィーク（中学生の体験活動）」の実施 ②小中学生の間接的交流：・中学生が選んだ本を，小学校で貸し出し，小学生が感想をメッセージカードで伝える活動 ・小中学生の図書の紹介や読書感想等による交流 ・給食における地域学校園統一の献立の実施 ・「おにぎりの日」の同一日実施 ③地域学校園の取組： ・中学校教員による授業の実施（6年生対象） ・学校事務，養護教諭，学校栄養士等，学校一人の配置職の部会による連携	
A22 A23	学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。	①関係団体との連携：「魅力ある学校づくり地域協議会」「頑張る学校プロジェクト」等と連携した活動 ②地域人材等の活用：・地域ボランティア（農園ボランティア・読み聞かせボランティア・お散歩隊等）を招いた活動 ・行政，企業等による出前授業（市教委・市生活安心課・県くらし安全安心課・カルビー・アルソック・日産自動車・ダスキン） ・地域へ出向いての体験学習（1・2年生活科の「まち探検」「公園へ行こう」等） ③感謝の気持ちの育成：活動に際した事前指導と事後指導の充実	
A24	学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。	①安全な環境づくり：月1回全教職員で行う安全点検に基づく施設設備の整備 ②校内の環境美化： 毎日の清掃指導，愛校作業（校庭の除草などの奉仕作業）の実施 ③誰もが使いやすい環境づくり： 学校を利用している団体等との連携	

No.	主な質問項目	学 校 で 行 っ て い る 主 な 取 組										
B1	児童は、自分のよいところや得意なことを理解し、自己肯定感をもって生活している。	①達成感・成功体験： ・一人一人が目標をもって取り組める活動の設定 ・児童の取組に対する振り返りと教師からの称賛 ②互いのよさを認め合える児童の育成： ・一人一人が活躍できる場の設定（学級会・係活動等） ・学級活動や帰りの会等で友達のよさを伝え合う活動の導入 ③保護者との連携：各種たよりを使った児童の活躍の紹介	 友達から受けた 優しい行為等を掲示  行事の振り返りと教師からの称賛のコメント 6年「学年だより」より 児童の活躍をお知らせ 									
B2	・児童は、交通ルールを守って登校したり，自転車に乗ったりしている。	①児童への安全指導・安全教育： ・教職員による継続的な交通安全指導の実践 ・県くらし安全安心課との連携による「交通安全教室」（3・5・6年生対象） ・市生活安心課との連携による「交通安全教室」（1・2年生対象） ・市生活安心課との連携による「子ども自転車免許事業」（4年生対象） ②保護者への啓発：学校ホームページや各種たより等を通した，学校での指導内容の周知と保護者への啓発 ③地域ぐるみの指導の実践：お散歩隊やPTA安全見守り隊などのボランティアの方々への協力依頼	 学年ごとに全校児童が交通安全教室・自転車免許事業に参加									
B3	・児童は、学校行事やたてわり班活動で，協力して楽しく活動している。	①上学年が下学年の面倒を見たり，みんなで協力したりする活動： 学校行事や縦割り班（異学年交流）活動，各教科の授業 ②児童による自主的・自治的な活動： 児童会活動や委員会活動，学級活動における話し合い活動の充実	 たてわり班活動で学年の枠を超えて活動する様子 運動会の応援の仕方を 1年生に教える6年生									
B4	児童は、宿題や自主学習，読書など，家庭学習をしている。	①家庭学習の定着： 低学年30分以上，中学年40分以上，高学年60分以上の家庭での学習時間の確保 ②保護者と連携した学習支援： ・毎日，家庭での学習時間をスタンダードダイアリー等への記録 ・家庭学習に関する参考資料の配付 ・学年だより等による家庭学習の取組み方の周知  3年生以上の児童に配付している 「家庭学習のヒント集」 取組例もたくさん掲載 ◎ 家庭学習で大切なことは… ☆毎日必ず学習しましょう。 <table><tr><td>1・2年生は 20分以上</td><td>※ 参考までに</td></tr><tr><td>3・4年生は 40分以上</td><td>中学 1年生は2時間</td></tr><tr><td>5・6年生は 60分以上 を目標にがんばりましょう。</td><td>2年生は3時間</td></tr><tr><td>例 今よりも、1日たったプラス10分がんばると</td><td>3年生は4時間が目標です。</td></tr><tr><td>1週間で70分 1月で300分(5時間) 1年で3650分(60時間)ものプラスになります。</td><td></td></tr></table>  家庭学習の内容や時間を一覧表や スタンダードダイアリーに記録し累積	1・2年生は 20分以上	※ 参考までに	3・4年生は 40分以上	中学 1年生は2時間	5・6年生は 60分以上 を目標にがんばりましょう。	2年生は3時間	例 今よりも、1日たったプラス10分がんばると	3年生は4時間が目標です。	1週間で70分 1月で300分(5時間) 1年で3650分(60時間)ものプラスになります。	
1・2年生は 20分以上	※ 参考までに											
3・4年生は 40分以上	中学 1年生は2時間											
5・6年生は 60分以上 を目標にがんばりましょう。	2年生は3時間											
例 今よりも、1日たったプラス10分がんばると	3年生は4時間が目標です。											
1週間で70分 1月で300分(5時間) 1年で3650分(60時間)ものプラスになります。												